

第七十六回
帝國議會
貴族院

關稅定率法中改正法律案特別委員會會議事速記錄第一號

付託議案

關稅定率法中改正法律案(政)

昭和十二年法律第五十七號改正法律案

(政)

相續稅法中改正法律案(政)

臨時利得稅法中改正法律案(政)

委員氏名

委員長 子爵加藤 泰通君
副委員長 男爵赤松 範一君

公爵山縣 有造君
伯爵柳原 義光君
子爵梅小路 定行君
子爵大河內 輝耕君
有吉 忠一君
出淵 勝次君
賀屋 興宣君
男爵松岡 均平君
結城豐太郎君
男爵島津 忠彦君
澁澤 金藏君
磯野 庸幸君
三橋四郎次君
田部長右衛門君
渡邊 甚吉君
侯爵淺野 長武君

昭和十六年二月十三日(木曜日)午後一時
三十九分開會

○委員長(子爵加藤泰通君) ソレデハ只今

カラ關稅定率法中改正法律案外三件ノ委員
會ヲ開キマス、皆サンニ御諮リヲ致シマス

ガ、議事ノ進行上便宜ノ爲關稅定率法中改正法律案、昭和十二年法律第五十七號改正法律案、臨時利得稅法中改正法律案、此ノ三件ヲ一括シマシテ、先ヅ議題ニ上シタイト思ヒマスガ、御異存ゴザイマセスカ

○委員長(子爵加藤泰通君) 御異議ナイト認メマス、政府委員ノ御説明ヲ求メマス

○政府委員(廣瀬豐作君) 當委員會ニ付託

ニ相成リマシタ關稅定率法中改正法律案外

三件ニ付キマシテハ、曩ニ本會議ニ於テ大

要ノ説明ヲ致シマシタガ、此ノ機會ニ於テ

少シク詳細ニ説明申上ゲタイト存ジマス、

先ヅ關稅定率法中改正法律案中ノ改正事項

ニ付テ説明致シマス、其ノ第一ハ本邦ニ近

接スル地域ノ生産品ニ對シ、勅令ヲ以テ地

域及物品ヲ指定シ、以テ本邦ニ近接スル地

域ノ生産品ノ輸入ヲ圓滑ナラシメル爲、新

タニ之ニ必要ナル規定ヲ、關稅定率法中ニ

第三條ノ二トシテ設ケルコトニ致シタ點デ

アリマス、尙之ニ關聯致シマシテ、現行ノ

關稅定率法ニ係ル物品ノ輸入稅ノ低減又

ハ免除ニ關スル法律ハ、本改正法律ノ附則

ヲ以テ之ヲ廢止致シマスガ、現ニ此ノ法律

ニ依ッテ輸入稅ヲ低減又ハ免除サレテ居ル

モノニ付テハ、今回新タニ設ケマスル第三條

ノ二ノ規定ニ基ク勅令ニ依リマシテ、引續

キ關稅ノ減免ヲ行ヒタイト存ジマス、第二

ハ本法ノ別表輸入稅表中、砂糖及鹽油ノ項

ノ改正デアリマス、先ヅ砂糖ニ關スル改正

デアリマスガ、砂糖ノ現行關稅ハ色相課稅

デアリマシテ、「オランダ」標本色相第十一

號未滿ノモノニ對シテハ每百斤三圓三十七錢、第二十二號未滿ノモノニ對シテハ每百斤三圓九十五錢、其ノ他ノモノニ對シテハ每百斤五圓三十錢トナツテ居リマス、昨年ノ稅制改正ニ於キマシテ、砂糖ノ消費稅ハ

糖度課稅ノ方法ヲ用フルコトニナツタノデア

リマスガ、關稅ニ於キマシテモ今回消費稅

ニ步調ヲ合セ、糖度課稅ト致スモノデアリ

マス、又其ノ稅率ハ大體現行稅率ヲ據置ク

コトトシマシテ、糖度八十六ヲ超エザルモ

ノハ每百斤三圓三十五錢、糖度九十九・五ヲ

超エザルモノハ每百斤三圓九十五錢、其ノ

他ノモノハ每百斤五圓三十錢トシ、多年懸

案ノ色相課稅ノ廢止ヲ行フモノデアリマス、

次ニ鹽油ノ改正ニ付テ説明致シマス、先ヅ

名稱ノ改正デアリマスガ、鹽油ト申シマス

ト、從來普通ニハ所謂石油類ヲ指稱スルノ

デアリマスガ、天然石油ノ外ニ礦物原料ヨ

リ製造セラレタ所ノ人造石油ヲモ包含スル

コトト相成ツテ居タノデアリマス、然ルニ

最近人造石油ノ發達ニ因リマシテ、必ズシ

モ礦物質デアリモノカラモ、直接人造石油

ガ製造セラレルヤウニ相成リマシタノデ、

ソレ等ノ人造石油ヲモ包含セシメル爲ニ其

ノ成分ニ基キマシテ、之ヲ一括シテ炭化水

素油ト云フ名稱ニ改メタノデアリマス、次ニ

「石炭又ハ油母頁岩ヨリ製造シタルモノ」ノ

項ヲ削除シタコトデアリマス、是ハ天然石油

ト化學的組成ガ殆ド同様デアリマシテ、其

ノ區分鑑別ガ必ズシモ容易デアリマセスノ

由來ノ如何ニ拘ラズ全部同一ナ取扱ト爲シタノデアリマス、次ニ「原油及重油」ノ外ニ「粗油」ヲ新タニ追加シタノデアリマス、現在ノ「原油及重油」ノ項ヲ適用サレテ居リマスモノハ、原則トシテ採取シタ儘ノ原油並ニ原油ヨリ輕質油ヲ除イタ所謂直接燃料ニ供スル釜殘重油等デアリマシタガ、今回ハ其ノ外ニ「粗油」ヲ追加シタノデアリマス、此ノ粗油ト申シマスルモノハ、精製油ト爲ス爲ニハ尙相當ノ精製工程ヲ必要トスル粗製原料油等デアリマシテ、本改正ニ依ッテ我が國現在ノ石油需給ノ情勢ニ適合セシメルヤウニ致シタイト考ヘタノデアリマス、又稅率ノ點ニ關シマシテハ、是等各種ノ炭化水素油ヲ通ジマシテ、大體現行ノ鹽油ノ稅率ヲ據置ク方針ノ下ニ負擔割合ノ是正ヲモ加味シテ、其ノ端數ノ整理ヲ致シマシタ、次ニ改正ノ第三點ハ酒精ノ原料ヲ輸入スル場合ニ於テ、酒精ノ製造ニ使用スルコトヲ條件トシテ、其ノ輸入稅ヲ免除スルコトト致シタ改正デアリマス、現在政府ノ輸入スル原料ニ付テハ、其ノ輸入稅ヲ免除シテ居ルノデアリマスガ、酒精ノ生産狀況等ニ鑑ミ、命令ヲ以テ指定スル酒精ノ製造ニ使用スルコトヲ條件トシテ、其ノ原料ノ輸入稅ヲ免除スルコトト致シタイノデアリマス、關稅定率法中ノ改正事項ハ大體以上ノ通りデアリマスガ、其ノ他不當廉賣審査委員會ヲ廢止スルニ伴ヒマシテ、本法中之ニ關スル規定ヲ削除致シ、又鹽油ニ關スル改正ニ關聯シテ、本法第七條第四號ノ「政府ノ輸入スル

燃料用礦油「ヲ」政府ノ輸入スル炭化水素油ニ改メルコトヲ致シマシタ、尙砂糖及礦油ニ關スル改正ニ伴ヒマシテ、三割五分ノ附加關稅ニ關スル昭和七年法律第四號ノ別表ニ整理ノ改正ヲ加ヘルコトヲ致シタイノデアリマス、次ハ昭和十二年法律第五十七號改正法律案デアリマス、此ノ法律ハ鐵ノ輸入稅免除期間延長ニ關スル法律デアリマス、鐵ノ輸入稅ハ昭和十二年四月十五日公布ノ緊急勅令ニ依リ免除サレテ以來、右勅令ニ代ル昭和十二年法律第五十七號ニ依リ引續キ免除セラレ、現在其ノ免除期間ハ昭和十六年六月三十日迄トナツテ居ルデアリマス、鐵ハ御承知ノ如ク國防產業並ニ一般產業ノ最重要ナル基礎資材デアリマシテ、之ガ供給ノ圓滑ニ資スル爲ニ關稅ガ免除セラレテ居ルデアリマスガ、我ガ國ニ於ケル鐵ノ生産、輸入、需給等ノ現狀ニモ鑑ミマシテ、此ノ鐵ノ關稅ノ免除ヲ本年六月三十日限り撤廢致シマスルコトハ適當デナイト考ヘ、尙當分ノ内ニ免除スルコトニ改正スルコトニ致シタイデアリマス、尙御質問ニ依リマシテソレノ關係當局カラ更ニ詳細ニ御答ヘ申上グルコトヲ致シタイノデアリマス、

次ニ臨時利得稅法中改正法律案ニ付キマシテ御說明ヲ致シマス、關東州ニ於キマシテハ、從來臨時利得稅ハ法人ニ對シテノ課稅セラレマシテ、個人ニ對シマシテハ課稅セラレテ居ナカッタデアリマスガ、今回新タニ個人ニ對シマシテモ課稅スルコトト相成リマシタ、是ガ爲ニ關東州ニ住所ヲ有シ又ハ一年以上居所ヲ有スル個人ガ本法施行地ニ資産又ハ營業ヲ有スル場合ニ於テハ重複課稅ヲ生ズルコトニナリマスルノデ、之ヲ避ケル爲ニ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、

ス、以上三法律案ニ付キマシテハ何卒御審議ノ上速カニ御贊成アラムコトヲ希望致ス次第デアリマス
○委員長(子爵加藤泰通君) 此ノ際御質疑ガゴザイマシタナラバ御質問ヲ願ヒマス、只今主稅局長カラ御話ガアリマシタガ、關稅定率法中ノ第三條ノ二、之ニ付テモ尙少シ詳細ニ御話ヲ申上ゲタイ、就キマシテハ速記ヲ停止シテ吳レト云フコトデアリマスカラ、速記ヲ止メテ……
午後一時五十二分速記中止

午後二時二十分速記開始

○委員長(子爵加藤泰通君) 如何デゴザイマセウカ、法案ヲマダ十分御研究ニナツテオイデニナラヌカト存ジマスカラ、今日マダ時間ガアリマシノデ、昭和十二年法律第五十七號改正法律案及臨時利得稅法中改正法律案ニ付テモ御質問ヲ願ヒタイと思ヒマス
○三橋四郎次君 我ハ新入生デアリマシテ、私ノ申上グルコトガ此ノ場所デ申上グルベキコトデナイトコトニ互ツタリ、或ハ習慣ニ背クヤウナコトガアリマシタラ、御指圖ヲ願ヒマス、私今ノ關稅定率法中改正法律案ノコトニ付テチヨット御質問申上ゲタイノデアリマスガ、差當リ若シ申上グルコトガ、筆記ノ方ノ關係ガ工合ガ惡カッタラ御止メヲ願ヒタイ、滿洲ニ關スルコトデスガ、宜シウゴザイマスカ
○委員長(子爵加藤泰通君) 速記ヲ止メテ下サイ

○委員長(子爵加藤泰通君) 速記ヲ始メテ……、御諮リシマスガ、先刻政府ノ御說明ニナリマシタ三案ニ付キマシテハ尙十分御

研究ヲ願ヒタイと思ヒマス、マダ時間ガゴザイマスカラ相續稅法中改正法律案、其ノ御說明ヲ願ヒタイと思ヒマスガ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○政府委員(松隈秀雄君) 相續稅法中改正法律案ニ付テ說明ヲ申上ゲマス、曩ニ本會議ニ於テ申上ゲマシタ通り本案ハ、相續財產中不動産ノ占ムル割合ノ多イ者ノ納稅上ノ困難ヲ緩和スルノ趣旨ニ依リ、相續稅ニ付物納稅認ムル爲ニ相續稅法ヲ改正セムトスルノデアリマス、先ヅ如何ナル場合ニ物納稅認ムルカガ問題デアリマスガ、御承知ノ如ク相續稅ノ年賦延納期間ハ普通ハ七年以内デアリマスガ、相續財產ノ價額中不動産ノ價格ガ五割以上ヲ占ムル場合ニ於キマシテハ、此ノ期間ヲ十年ニ延長スルコトニナツテ居ルデアリマス、相續稅ノ物納稅モ亦斯カル條件ヲ備フル場合ニ、之ヲ認ムルヲ相當ト考ヘタノデアリマス、尤モ相續財產ノ價格中不動産ノ價額ガ五割以上ヲ占メテ居リマシテモ、相續稅額ガ比較的小額デアル場合ハ、年賦延納ノ制度タケテ十分デアルト存ゼラレマスノデ、相續稅額ガ千圓程度以上、即チ例ヘバ家督相續第一種ニ付テ見マスレバ、課稅價格ガ約五萬圓程度以上デアル場合ニ限リテ物納稅認ムルコトヲ致シタイデアリマス、尙、相續稅法施行地外ニ住所ヲ有スル者ニ付開始致シマシタ相續及相續稅法第二十三條ニ規定スル贈與ニ付キマシテハ、其ノ性質上物納稅認ムル必要ナキモノト考ヘラレマスノデ、之ニ付テハ物納稅認メナイコトヲ致シタイデアリマス、次ニ物納稅ノ目的物デアリマスガ、本制度創設ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、物納稅ノ目的物ハ相續財

產タル不動産ニ限ルコトニ致シマシタ、不動産以外ニモ不動産上ノ權利、船舶等ノ如ク換價必スシモ容易ナラザルモノモアルカト思ヒマスガ、受入後ノ管理處分ニ相當ノ困難アリト認メラレマスシ、又實際問題トシテ其處迄モ擴張スルノ適當デナイト考ヘラレマスノデ、不動産ニ限ルコトニ致シテ居ルノデアリマス、而シテ物納稅ノ申請ヲ俟テ許可スルノデアリマスガ、其ノ申請期限ハ課稅價格決定通知ヲ受ケタル後二十日以内ト致シマシタ、是ハ年賦延納ノ申請期限ト同様デアリマス、尙、連帶納付ノ責アル納稅義務者ニ在リマシテハ、其ノ一人ヨリ申請スルヲ以テ足ルコトヲ致シマシタ、是モ年賦延納ノ場合モ同様デアリマス、納付物件ハ先ニ申シマシタ通り、相續財產タル不動産タルヲ要スルノデアリマスガ、其ノ不動産中何レノ物件ヲ以テ納付スルカハ原則トシテ納稅義務者ノ申出デタルモノニ依ルコトト致シテ居ルノデアリマス、唯不動産ノ中ニハ政府ニ於テ管理又ハ處分ヲ爲スニ不適當ナモノガゴザイマスノデ、納稅義務者ガ斯クノ如キモノヲ選擇シタル場合ハ、政府ニ於テ其ノ變換ヲ命ジ、又ハ更ニ若シ相續財產タル不動産ガ管理處分上不適當ナモノノミナル場合ハ、物納稅許可セザルコトヲ得ルノ制度ト致シタイデアリマス、又他ノ條件ガ具備シテ居リマスル場合ニ於キマシテモ、一方ニ於テ現金、預金及換價容易ナル有價證券等ガ相續稅額ニ比シ遙カニ多額デアリマシテ、税金ノ物納稅ガ著シク容易ナル場合ニハ、物納稅認メマセヌデモ差支ナイと思ハレマスノデ、此ノ場合ニモ物納稅許可セザルコトヲ得ルコトヲ致シタイデアリマス、唯是等ノ場合ニ於キマシテハ政府ノ處分ヲ公明ナラ

シムル爲、相續稅審查委員會ニ諮問スルヲ要スルコトト致シテ居ル次第デアリマス、物納ヲ致シマス場合ニ於ケル納付物件ノ受入價格ハ、原則トシテ相續稅課稅價格計算ノ基礎トナツタ評價額ニ依ルコトト致ス積リデアリマス、又物納ヲ爲シ得ル稅額ハ、當該相續財產タル不動産ノ價額ニ對スル分ノ相續稅額ニ限ルヲ相當ト考ヘルノデアリマ

スガ、是等ニ關スル詳細ナ規定ハ命令ニ讓ツテアルノデアリマス、尙本改正法案ハ昭和十六年四月一日以後ニ開始シタル相續ヨリ適用致スコトニナツテ居リマスノデ、同日以後ニ開始シタ分ヨリ物納ヲ爲シ得ルコトニナルノデアリマス、尙物納財產ノ管理又ハ處分ニ因リ生ジマシタ收入金ハ物納財產ノ成因ニ鑑ミ、直接一般會計ノ收入ト爲スヲ適當ト考ヘラレマスノデ、附則ヲ以テ國有財產整理資金特別會計法ヲ改正スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、以上相續稅法中改正法律案ノ内容等ニ付御説明致シタ次第デアリマス

○委員長(子爵加藤泰通君) ソレデハ本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後二時四十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵加藤 泰通君
副委員長 男爵赤松 範一君
委員

公爵山縣 有道君
伯爵柳原 義光君
子爵梅小路 定行君
有吉 忠一君
出淵 勝次君
男爵松岡 均平君

政府委員

結城豐太郎君
男爵島津 忠彦君
三橋四郎次君
田部長右衛門君
渡邊 甚吉君
侯爵淺野 長武君
外務省通商局長 水野伊太郎君
大藏次官 廣瀨 豐作君
大藏省主稅局長 松隈 秀雄君
大藏書記官 秋元 順朝君

昭和十六年二月十四日印刷

昭和十六年二月十五日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局